

授業科目名	生活環境論	科目コード	G3202P01
英文名	Living Environment		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 生活環境		
------	-------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	高橋 ゆかり
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>地域環境について知ることは、その重要性を次世代の人々にも伝えるためにたいへん重要である。この授業では、大気環境、水環境、土壌環境の現状と課題についての理解を深める。また、生活環境問題は、他の環境問題とどのように関わっているのかということや、私たちの取るべき態度についても考える。【SDGs：目標3、12】（担当教員：実務経験あり） 授業資料</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	地域環境問題	大気環境	土壌環境	化学物質	持続可能な社会
-------	--------	------	------	------	---------

到達目標	大気環境、水環境、土壌環境が良好であることの大切さとこれらが汚染した場合の問題点について説明できる。（50％）				
	生活の中で使われている物質の恩恵や不適切な使用による問題について説明できる。（40％）				
	私たちの生活と世界とのつながりについて説明し、自分の意見を述べるができる。（20％）				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション-人間と環境のかかわりや環境問題を学ぶことの大切さ 授業の概要について説明する。また、人間活動や人口と環境のかかわりや人間活動にともなうどのような地球環境問題が生じたのかについて学ぶ。また、日本はこれまでの環境問題にどのように対処してきたのかということも学ぶ。生活環境論生活環境論	
	【予習】特に定めないが、授業には必ず出席すること。	
	【復習】テキスト1～11ページおよび授業ノートを読んで復習する。	30分
第2回	公害、環境問題の歴史 日本は、過去にさまざまな公害問題を体験してきた。これらの問題を通して、環境問題について考える。	
	【予習】過去に日本でどのような公害問題が起こったか調べておく。	30分
	【復習】テキスト12～20ページおよび授業ノートを読んで復習する。	30分
第3回	大気環境 空気は人間の生存にとって不可欠なものである。空気と人間のかかわり、大気役割やその組成などについて学ぶ。	
	【予習】あらかじめ配布された資料を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に出された課題に取り組む。	30分
第4回	さまざまな大気環境問題 酸性雨、黄砂などの大気環境問題、浮遊粒子状物質や微小粒子状物質（PM2.5）などによる大気汚染の現状やとられている対策などについて学ぶ。また、現状やとられている対策などについても学ぶ。	
	【予習】テキスト57～65ページを読み、予習課題に取り組む。	40分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	40分
第5回	室内空気の質 私たちは、一日の大半を室内で過ごしている。室内空気の質が良好であることは、健康にとって大切なことである。室内空気を汚染する可能性のある物質や発生源、室内環境を清浄に保つにはどうしたらよいか学ぶ。	
	【予習】どのような行為によって室内空気が汚染されるか調べておく。	30分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	30分
第6回	土壌の役割と構造 土壌とは何か、生物の生存に対してどのような役割を担っているのかについて学ぶ。また、土壌の質や土壌が劣化してしまう原因について考える。 また、前半の授業の復習をする。	
	【予習】土壌の機能と役割について調べ、整理しておく。 第1回から第7回の授業の復習をして授業に臨む。	120分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	40分
第7回	土壌・地下水汚染 土壌汚染の原因、どのような物質が土壌汚染物質となるのか、土壌や地下水が汚染されるとどのような影響があるのかということについて学ぶ。さらに、汚染土壌の調査方法やとられている対策についても理解する。	
	【予習】テキスト80～89ページを読み、わからない語句について調べておく。	40分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	40分
第8回	生活の中の化学物質（1） 私たちは化学物質によって豊かな生活を送ることができる。生活の中の様々な製品について、その利便性と誤った使用法による危険性について考える。	
	【予習】テキスト90～104ページをよく読み、分からない語句について調べる。また、予習課題に取り組む。	
	【復習】	

第9回	生活の中の化学物質(2)～化学物質が生物に及ぼす影響 化学物質の定義を明らかにした上で、生物の生存に必要な化学物質、生物にとって害になる化学物質について理解する。さらに、化学物質が環境中に放出された場合、どのような影響があるのかについて考える。	
	【予習】テキスト105～111ページをよく読み、分からない語句について調べる。また、予習課題に取り組む。	40分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	40分
第10回	生活の中の化学物質(3)～化学物質による環境汚染 化学物質は、私たちの生活を豊かにする一方で、リスクもある。リスク評価の基本的な考え方について理解する。さらに、これまで問題となった化学物質の例を挙げる。	
	【予習】予習課題に取り組む。	40分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	40分
第11回	放射性物質による環境汚染	
	【予習】	
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	
第12回	食品と環境問題 私たちの食品の中には、海外で生産されているものも多い。生産の過程で起きている環境問題や生産者が直面している問題について、グループワークを通して考える。	
	【予習】テキスト163～167ページをよく読み、分からない語句について調べる。また、予習課題に取り組む。	
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	
第13回	食料自給率と食品の安全性に関する問題	
	【予習】テキスト167～171ページをよく読み、分からない語句について調べる。また、予習課題に取り組む。	
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	
第14回	ごみと廃棄物	
	【予習】テキスト172～180ページをよく読み、分からない語句について調べる。また、予習課題に取り組む。	
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	
第15回	持続可能な社会と私たちの生き方 これまでの授業で学んできたことをふまえ、私たちはどのように環境とかわかり、環境保全をしたらよいのかについて考える。	
	【予習】テキスト195～204ページをよく読み、分からない語句について調べる。また、予習課題に取り組む。	40分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	180分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び授業中に実施する小課題（60％）、期末試験（40％）によって評価する。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 【ディプロマポリシー配分比率】専門性：100%		
使用資料 <テキスト>	川合真一郎、張野宏也、山本義和「環境科学入門 第2版」（化学同人）	使用資料 <参考図書>	・金原粲監修「環境科学 改訂版（専門基礎ライブラリー）」（実教出版、2014年）
授業外学修等	指定された予習・復習を行う。		
授業外質問方法	授業終了後、オフィスアワーおよびEメール（y-takahasi@tuins.ac.jp）など		
オフィス・アワー	月曜日4限、440室		